

## 江ノ島電鉄の DX 基盤を Microsoft クラウド環境で実現 全社員の Microsoft 365 利用を推進し、業務の標準化を図るとともにセキュリティを強化

IT サービス業の J B C C株式会社（本社：東京都中央区、社長：東上 征司、以下 J B C C）は、江ノ島電鉄株式会社（本社：神奈川県藤沢市、取締役社長：黒田 聡、以下 江ノ電）の全社員が利用する情報システム基盤を、Microsoft Azure、Microsoft 365 などを組み合わせてクラウド上に構築し、J B C Cのクラウド・セキュリティ運用支援サービスで安心安全な DX 環境を実現しました。引き続き AI・データ活用と共に取り組むなど、江ノ電の DX に伴走しています。

江ノ電は、地域のシンボルともいえる江の島、寺社仏閣が数多く点在する鎌倉など、豊富な観光資源を活かし、湘南・鎌倉エリアにおいて、国内外から多くの観光客が利用する鉄道をはじめとして、バス、観光、不動産など、地域に密着した事業を展開しています。

このような社会インフラとしての事業を推進する上で、高度化かつ頻発するサイバー攻撃に対する脆弱なセキュリティ、業務の属人化、システムのサイロ化によるデータ資産の散在が DX 化の阻害要因となっていました。

こうした課題に対応し、データ資産をセキュアに活用可能な環境を実現すべく、全社員が業務で利用する情報システム基盤を Microsoft クラウド上で全面刷新しました。新システムの特長は以下の通りです。

### ■江ノ電様 新システムの特長

- Microsoft クラウド環境へデータ集約、セキュアな共有データ基盤に**
  - Microsoft Azure 上に社内文書や動画など全社のデータを集約し、セキュアな共有データ基盤を構築・運用
  - J B C Cの運用サービスを活用し、IT 担当者の日々の運用負荷を解消
- 共有データ基盤を用いて、AI・データ分析に取り組み、オーバーツーリズムの解消など新たな価値提供を目指す**
  - 人流分析を可視化し、観光客の特定地域集中による混雑・渋滞を解消する対策に活かす
  - 経営判断の迅速化に向けて収支を見える化、投資効果が高く地域に貢献する新規事業や新規施策に活かす
- Microsoft 365 の機能を駆使し、システムのセキュリティの強化とコスト最適化**
  - 管理部門や運行管理者など業務用途に応じて Microsoft 365 のセキュリティレベルを管理し、安全性とコスト最適化の両立を実現
  - 高度化するセキュリティ脅威に対し、J B C Cグループのセキュリティ技術者が導入後も運用サポート

新システムにより、安全で信頼性が高いサービスの提供、全社的な業務効率化と迅速な意思決定が可能となり、Microsoft 環境で提供される進化する技術を活用したデータ中心の顧客価値向上に資する DX 基盤を実現しました。



